





八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班（4月分）

標 題	小麦・はだか麦の防除本格化に向けて		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年4月5日	場所	西予市宇和地区（JAひがしうわカン トリーエレベーター）	
指導対象	西予無人ヘリ防除組合連絡協議会オ ペレーター（20人）	連携 機関	JAひがしうわ	
普及指導 内容	<p>○麦の生育状況に応じた赤かび病防除と無人ヘリコプターの安全操作に関する講習会を開催した。</p> <p>○当協議会は、町内4地区で各1機保有し、農家からの申込みに応じて防除を請け負っている（令和4年延べ面積：水稻 879ha、麦 358ha、大豆 195ha）。</p> <p>○今年産麦の生育ステージ等を情報提供し、開花期以降の適期防除に備えた。</p> <p>○また、安全講習を実施し、安全性等に配慮しながら防除作業を進めるよう基本手順を再確認した。</p>			
結果と今後	<p>○4月11日からヘリ防除を開始し、小麦は2回、はだか麦は1回実施する計画（状況に応じて特別防除を追加）。</p> <p>○当協議会は宇和町内の水稻・麦・大豆の防除を担っており、当班は担い手への負担軽減のため発生予察に応じた効率防除を推進する。</p>			
<p>【赤かび病菌】 人や家畜に有毒なかび毒であり、小麦に含まれるデオキシニパレノール（DON）の基準値が1.0ppmを超えると食品衛生法上、流通できない。</p>				
		説明する普及職員（右奥）		小麦出穂開花期（4/20）

標 題	にんにくの産地化に向けた推進会議を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和5年4月12日	場所	西予市野村町大野ヶ原	
指導対象	大野ヶ原にんにく組合員（7人）	連携 機関	西予市	
普及指導 内容	<p>○寒地系にんにくの生産量増加に向けた栽培技術確立のため、第1回産地化推進会議を開催した。</p> <p>○品質安定と生産量増加を目的に、養分吸収が盛んな鱗片分化時期における追肥資材の違いによる生育比較の実証ほを設置した。また、重要病害虫に対する防除方法と5月下旬の収穫に向けた管理方法の共有を図った。</p>			
結果と今後	<p>○今後、実証ほにおいて葉枚数及び鱗片分化の状況を調査し、実証結果を共有していく。</p> <p>○各種補助事業を活用し、収穫作業の省力化に向けた機械の導入支援を計画しているほか、6月に同組合と共催して野村高校生を対象とした収穫祭を開催し、大野ヶ原にんにくの産地PRと理解促進を図る。</p>			
				<p>左：産地化推進対策会議 右：ほ場生育調査</p>